

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(20歳代男性1例及び60歳代男性1例)あります。本年の累積報告数は18例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センター「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代女性)ありました。この感染症の本年の累積報告数は20例となりました。
- 梅毒の報告が2例(10歳代女性1例及び20歳代女性1例)あり、推定感染経路は異性間性的接触です。本年の累積報告数は27例となっています。近年、全国的に報告数が増加しており、特に女性の梅毒感染者の年間報告数は、2010年の124例から2015年には763例と、この5年で約6倍に増加しています。梅毒の感染経路や治療、予防等に関して「梅毒に関するQ&A」としてまとめているので、以下のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.33(14例)となり、前週0.21から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 7例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 233例(肺結核 125例, その他結核 49例, 潜在性結核感染者 59例)うち喀痰塗抹陽性 57例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 18例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類:梅毒(早期顕症) 2例 (第34週追加報告分1例含む)【1月以降の累積報告数 27例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

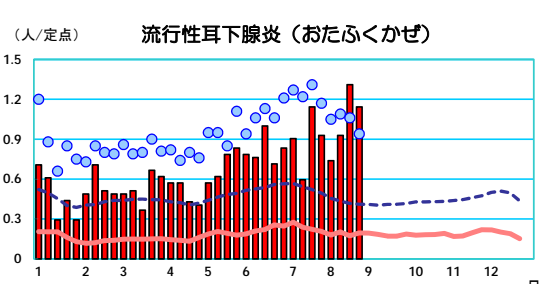
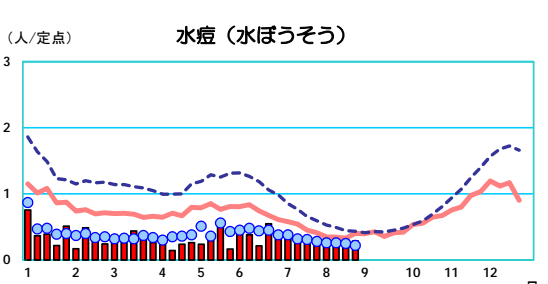
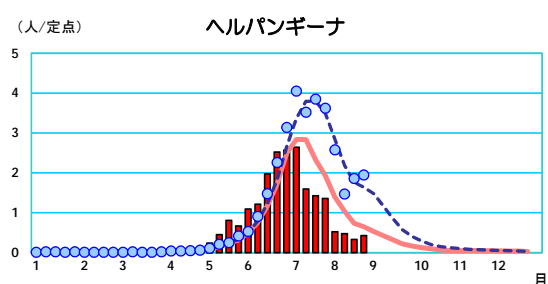
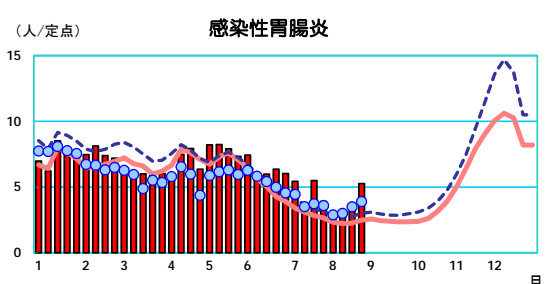
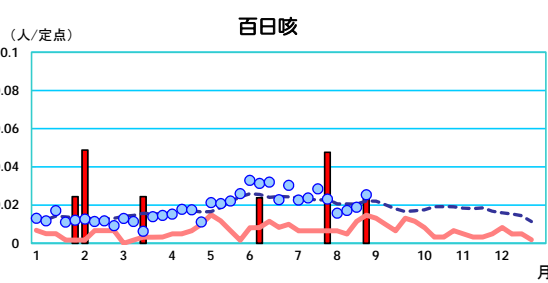
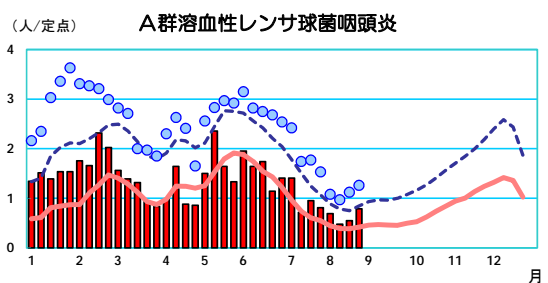
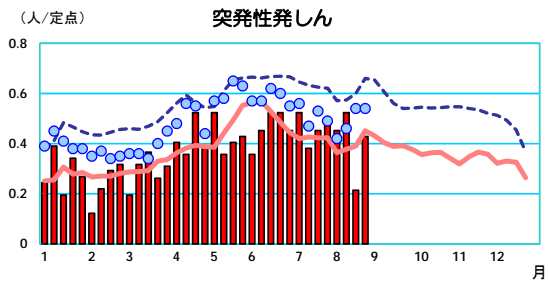
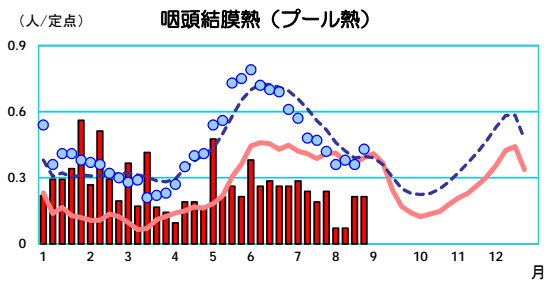
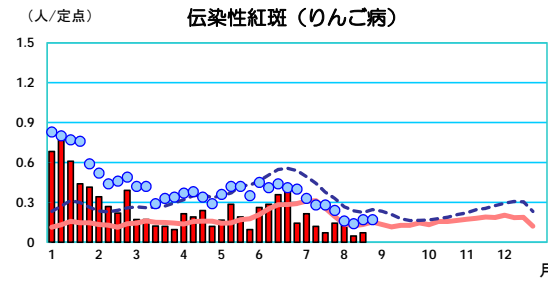
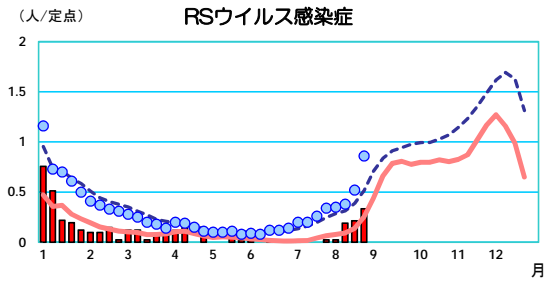
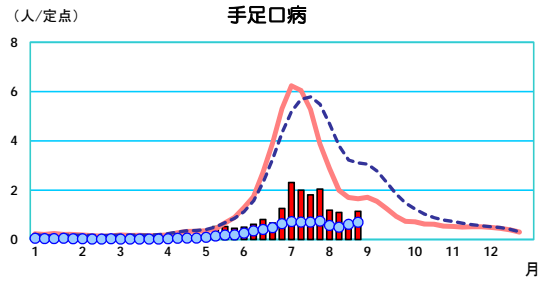
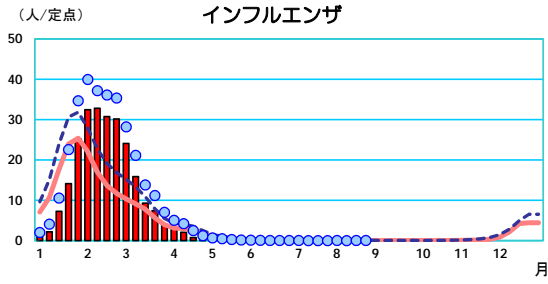
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.26	221
	② 手足口病	1.14	48
	② 流行性耳下腺炎	1.14	48
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.79	33
	⑤ 突発性発しん	0.43	18
	⑤ ヘルパンギーナ	0.43	18
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年9月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第35週(8月29日～9月4日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市及び全国の発生動向

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.33(14例)となり、前週0.21から増加しました(図1)。第33週以降、京都市過去5年平均値を3週連続で上回っています(図1)。全国では41都道府県で報告数が前週から増加し、近畿6府県についてはすべて報告数が増加しています(図2)。京都市の年齢階級別割合は、昨年までと同様、3歳以下で全報告数の95%以上を占めています(図3)。例年、9月頃から患者数が急増し、秋から冬にかけて報告数が多いことから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状及び感染経路

潜伏期間は通常4～6日で、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続きます。多くは軽症ですが、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れ、細気管支炎、肺炎へ進展することがあります。低出生体重児や、心臓や肺の基礎疾患、免疫不全がある場合には重症化のリスクが高まります。重篤な合併症として、無呼吸発作、急性脳症等があり、生後1か月未満の子供が感染した場合、突然死につながる無呼吸発作を起こすことがあります。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスの付着した手指や物品(ドアノブ、手すり、おもちゃ等)を介した接触感染です。

予防

発症の多くは0～1歳児であることから、咳などの呼吸器症状のある人は可能な限り、乳幼児との接触を避けることが予防につながります。子供に日常的に接する人は、流行時期は特に、感染予防のためマスクを着用することが大切です。また、子供が触れるおもちゃや手すりなどはこまめに消毒し、流水・石鹸による手洗い及び手指消毒を励行しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

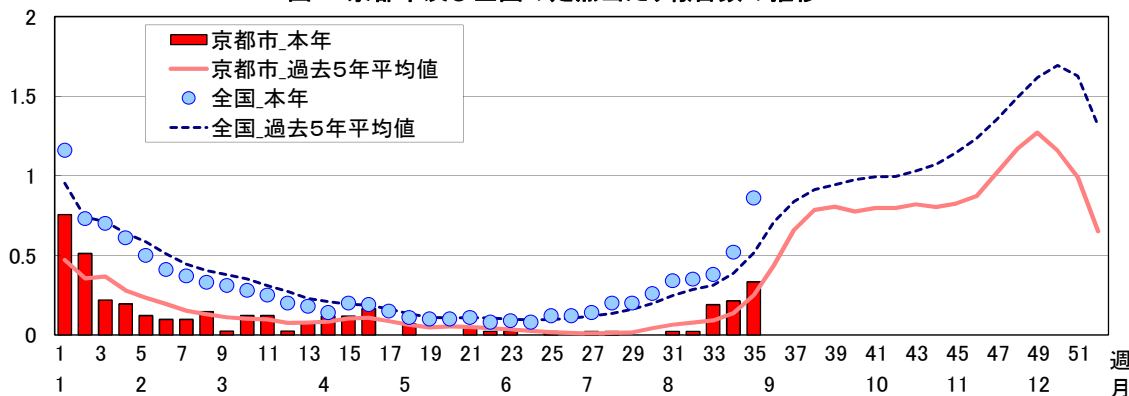


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

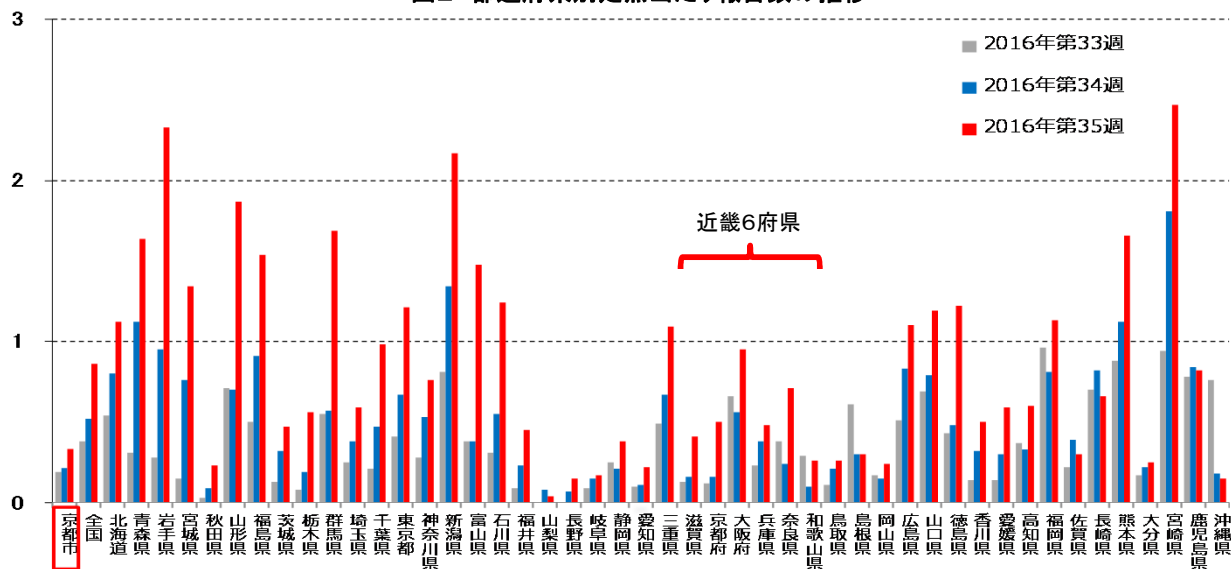
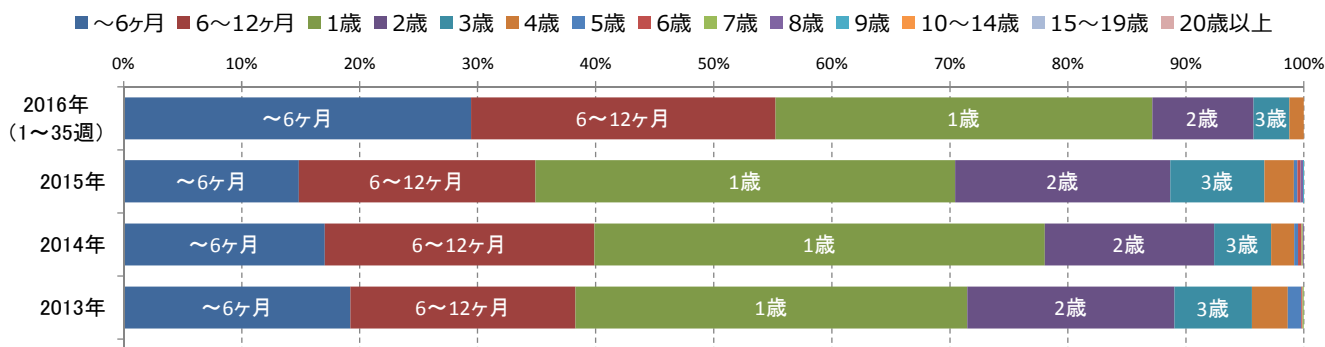


図3 年齢階級別割合(京都市)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第35週

疾病,行政区別報告数

平成28年8月29日～平成28年9月4日

データ入手日:平成28年9月7日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																			
北	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	3	1	-	-					
上京	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	2	1	6	67	-	19	-	-	-	2	1	-	-					
中京	-	4	-	4	1	1	3	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	2	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	3	8	1	3	-	3	-	1	8	-	-					
下京	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	1	17	-	2	-	-	-	2	6	-	-					
右京	-	4	1	8	23	1	8	-	3	1	-	7	-	2					
伏見	-	2	-	5	66	3	8	-	4	-	6	12	-	-					
西京	-	-	7	5	16	4	4	-	7	-	2	9	-	-					
京都市計	1	14	9	33	221	12	48	-	18	1	18	48	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																			
北	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.25	-	0.75	0.25	-	-					
上京	-	-	-	0.33	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	0.50	0.25	1.50	16.75	-	4.75	-	-	-	0.50	0.25	-	-					
中京	-	1.33	-	1.33	0.33	0.33	1.00	-	-	-	0.67	1.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.00	-	-	7.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	0.75	2.00	0.25	0.75	-	0.75	-	0.25	2.00	-	-					
下京	-	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	0.33	5.67	-	0.67	-	-	-	0.67	2.00	-	-					
右京	-	0.80	0.20	1.60	4.60	0.20	1.60	-	0.60	0.20	-	1.40	-	2.00					
伏見	-	0.29	-	0.71	9.43	0.43	1.14	-	0.57	-	0.86	1.71	-	-					
西京	-	-	1.40	1.00	3.20	0.80	0.80	-	1.40	-	0.40	1.80	-	-					
京都市計	0.01	0.33	0.21	0.79	5.26	0.29	1.14	-	0.43	0.02	0.43	1.14	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第35週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年8月29日～平成28年9月4日

データ入手日:平成28年9月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	14	2	1	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		9	-	2	-	2	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		33	-	-	-	4	4	10	2	4	1	-	3	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		221	4	19	36	21	17	14	16	10	8	14	3	22	9	28	-	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	-	3	1	2	-	1	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		48	-	7	16	12	5	2	1	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		18	1	4	9	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		18	-	3	8	2	2	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		48	-	-	2	3	3	10	6	6	5	3	4	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.33	0.05	0.02	0.24	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.21	-	0.05	-	0.05	0.02	0.02	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.79	-	-	-	0.10	0.10	0.24	0.05	0.10	0.02	-	0.07	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		5.26	0.10	0.45	0.86	0.50	0.40	0.33	0.38	0.24	0.19	0.33	0.07	0.52	0.21	0.67	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.29	-	-	0.07	0.02	0.05	-	0.02	0.02	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1.14	-	0.17	0.38	0.29	0.12	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.43	0.02	0.10	0.21	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.43	-	0.07	0.19	0.05	0.05	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		1.14	-	-	0.05	0.07	0.07	0.24	0.14	0.14	0.12	0.07	0.10	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第35週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年9月7日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	1	-	-	1
RSウイルス感染症		-	1	1	8	9	14
咽頭結膜熱		8	10	3	3	9	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		40	34	29	20	23	33
感染性胃腸炎		231	164	125	122	151	221
水痘		10	10	14	9	13	12
手足口病		76	86	50	46	28	48
伝染性紅斑		3	6	7	2	3	-
突発性発しん		19	20	19	22	9	18
百日咳		-	2	-	-	-	1
ヘルパンギーナ		60	57	22	20	14	18
流行性耳下腺炎		48	39	31	39	55	48
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	2	2	3	4	2
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	2	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		495	432	304	296	318	425

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	0.01	-	-	0.01
RSウイルス感染症		-	0.02	0.02	0.19	0.21	0.33
咽頭結膜熱		0.19	0.24	0.07	0.07	0.21	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.95	0.81	0.69	0.48	0.55	0.79
感染性胃腸炎		5.50	3.90	2.98	2.90	3.60	5.26
水痘		0.24	0.24	0.33	0.21	0.31	0.29
手足口病		1.81	2.05	1.19	1.10	0.67	1.14
伝染性紅斑		0.07	0.14	0.17	0.05	0.07	-
突発性発しん		0.45	0.48	0.45	0.52	0.21	0.43
百日咳		-	0.05	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ		1.43	1.36	0.52	0.48	0.33	0.43
流行性耳下腺炎		1.14	0.93	0.74	0.93	1.31	1.14
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	0.20	0.20	0.30	0.40	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	2.00	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.79	11.41	7.38	9.23	7.88	10.26

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。